



# 学校だより 5月 第378号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

## 「おつにし」の子ども

学校長

始業式・入学式の前日に、新6年生が新年度準備の手伝いのために登校しました。

新入生の教室準備や、体育館の入学式準備、机の運び出しや昇降口の清掃などを担当し、本当に丁寧に隅々まで準備しようと張り切っている新6年生の姿に出会いました。

卒業式からわずか2週間程しかたっていないのに、きりっと引き締まった子どもたちの表情は、最高学年にふさわしいばかりか「おとなの顔」に成長していたようにも感じられ、作業を終え、体育館に集まった新6年生を大いに称賛しました。

子どもたちの大きな心の成長に驚いた私は、入学式当日、新6年生保護者の方にその様子を伝えると、「5年生で卒業式予行練習に参加した時、6年生の歌声が本当に素晴らしかったので、自分たちもあのような6年生にならなくてはいけない。」と、お子さんが、ご家庭で話していたと伺いました。

もちろん、そのお子さんだけではなく、全ての6年生が「1年生のサポートをしてあげたい。」「役に立ちたい。」という気持ちをもって今でも張り切って取り組んでいます。

1年生の子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、継続して朝の時間や

給食の片付けの時間などに6年生が教室を訪問していますが、背の丈も大きく違う6年生が1年生と関わる様子は、本当に素晴らしい光景です。

ある朝、1年生の手を引き、一緒に登校してきた6年生が、私の目の前で「おはようございます。」と、1年生と一緒に静かに会釈をし、ゆっくりと通り過ぎていきました。その後、1年生を昇降口に送り届けると、急ぎ足で6年生の昇降口に戻り、今度は「おはようございまーす！遅刻しちゃう〜！」と元気に声をかけてくれました。「大丈夫だよ！」という私の声が届く間もなく、6年生は昇降口に入っていました。何気ない、朝の様子ですが、「おつにし」最高学年の子どもが自分のことを優先するのではなく、1年生を気遣い、同じ歩幅で歩いて登校し、1年生の模範となるような挨拶をした光景を思い浮かべると何だか嬉しくなってきます。

5月5日は、こどもの日です。

令和4年度の学校教育目標を読み返し、「おつにし」の子どもたちの為、学校や私たち大人が今、すべきことを、改めて考えてみようと思います。



令和4年度【学校教育目標】 「かがやき ひびきあう 六つ西の子」

- 主体的に考え、対話的な学びを通して学び続ける力を育てます。(知)
- 自分や周りの人への理解を深め、互いをかけがえのない存在として大切に作る心を育てます。(徳)
- 望ましい生活習慣や楽しく運動する習慣を身に付け、心身ともに健康に生きる力を育てます。(体)
- 学校や地域の中で、自分の役割と責任を自覚し、他者と協働する力を育てます。(公)
- 自他の違いを受け止めながら、様々な人と進んで関わり、共に生きていく力を育てます。(開)